

# はしもと

## 〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

## 〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します  
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます  
常に新しく良質な医療ができるように心がけます  
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

## 〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



## 回復期リハビリテーション病棟

### 言語聴覚士とは

病気や怪我によるコミュニケーション障害や摂食嚥下障害に対して、医学的知識に基づいた分析・予測を行い、機能の向上や生活への適応を訓練・援助していく職種です。具体的には失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害に対してリハビリを行います。今回は嚥下障害について紹介します。

### 嚥下障害とは

食べ物や飲み物を飲み込むことを「嚥下」、この動作が正しく働かないことを「嚥下障害」といいます。嚥下障害の最も重要な問題は、食べ物や唾液などが誤って気管の中にはいる「誤嚥」です。誤嚥によって生じる肺炎を誤嚥性肺炎といいます。誤嚥のサインは「むせ」ですが、加齢や疾患等によって誤嚥してもむせないことがあります。

#### 誤嚥を疑うチェックリスト



##### <食事中>

- ・むせる
- ・咳がでる
- ・ごろごろした声になる
- ・食事量の減少
- ・食事時間の延長



##### <日常生活>

- ・よだれ、痰が多い
- ・唾液でむせる
- ・口の中が汚い
- ・熱が出る
- ・ごろごろとした声になる



当院には、12名の言語聴覚士が在籍しています。

嚥下障害等の気になる症状、また不安等がある場合は、いつでもご相談ください。



## 認知症治療病棟

### シリーズ 認知症

### 第4回

### ～ 前頭側頭型認知症 ～



#### 1) 前頭側頭型認知症とは

脳の前頭葉（人格や理性的な行動、社会性）と側頭葉（言語の理解や記憶の処理）が委縮し、血流が低下する事で様々な症状が引き起こされる病気です。初期には物忘れよりも人格変化や非常識な行動が目立ってみられます。

#### 2) 経過と症状： 初期から行動の異常や人格の変化がみられ、経過によって出現する症状が変化します。

##### <初期>

- ① 自発性の低下
- ② 抑制がきかない
- ③ 食事や嗜好の変化
- ④ 感情の麻痺

##### <中期>

- ① 同じ事を繰り返す
- ② 立ち去り行動
- ③ 影響を受け易く反復する

##### <後期>

- ① 精神機能の衰退
- ② 寝たきり

#### 3) ケアのポイント

- ① 病気であることを理解する
- ② 症状の特徴を上手く利用する
- ③ 落ち着いて過ごせる環境を整える
- ④ 食事や行動の変化に柔軟に対応する
- ⑤ 出来る事は出来るだけ行って貰う



## 院内感染防止対策委員会

### 秋から冬にかけての感染症対策

気温が下がり始め、湿度の低下や乾燥し始める秋は、感染症の元となるウイルスが活発になる環境です。ウイルスは気温が低く、湿度が低いときによく活動します。気温が下がり体の免疫力が低下することで、ウイルスによる感染症にかかりやすい状況となっています。感染症が流行する冬の前に予防することが大切となります。

#### ウイルスからの感染を防ぐためには

##### ① 手洗いをしっかりしましょう

帰宅時、調理の前後、食事の前後、トイレの後は石鹸でよく洗い、流水で十分に洗いましょう。

##### ② 予防接種を受けましょう

発症する可能性を減らし、発症しても重い症状になるのを防ぎます。

##### ③ 咳エチケットをしましょう

せきやくしゃみなどの症状がある時には、マスクをつけましょう。

##### ④ 免疫力の向上

十分な睡眠、バランスの良い食事を心がけ、免疫力を高めておくことも大切です。



当院では、職員への院内感染防止の取り組みとして、手指衛生の徹底、マスクや手袋等の个人防护具の着用、予防接種の実施、体調チェックなどを行っています。感染症流行時期には、入院患者様やご家族様、面会者の皆様にも御協力をお願いし、昨年は11月～3月まで面会制限受付を設置しました。今年度も感染防止のため実施を予定していますので、御協力よろしくお願い致します。

## 防火防災委員会

### 新入職者対象普通救命講習

講習日：平成30年8月22日（水）、29日（水） 場所：橋本病院 会議室

三豊市第二分署所属 消防士・救急救命士の講義・実演指導のもと、新入職者を対象として普通救命講習を実施しました。

今年は自然災害により各地で多くの被害がありました。災害時や緊急時の対応として、早期に救命措置を行い対応する事で助かる命が多くあります。そういった中で、最新の正しい救命措置の行い方を身につけ、災害時や緊急時に対応できることを目的とし防災訓練の一環として毎年実施しています。

新入職者だけでなく、在籍職員も3年に1度講習を受け、常に新しい救命措置の方法を習得し、職員全員が正しい知識・技術を身につけるように取り組んでいます。





## 薬剤部

### ◆お薬は適量の水分で服用しましょう◆

その昔、鉄剤（貧血の薬）をお茶で飲むと鉄の吸収量が下がり、鉄剤の効果が十分現れないという理由から、お茶で鉄剤を飲まないよう言われていました。

実際はどうでしょうか？

鉄剤に含まれる鉄の量は、必要量よりかなり多く含まれており、お茶の影響はないと言われていました。最近では、お茶で飲んではいけないと言われることはありません。しかし薬によっては、お茶や水道水で飲むと吸収が下がる薬などもあります。ジュースや牛乳でも吸収が下がる薬もあります。また、飲む水の量が少ないと、食道や胃、腸の粘膜にくっつき、粘膜に炎症を起こすこともあります。



お薬を飲む場合は、適量の「白湯」で飲むのが基本だと思います。もちろん、お茶や水道水、ジュース、牛乳などで飲んで大丈夫な薬もたくさんあります。ご不明なことやご心配なことがあれば、薬剤師にご遠慮なくお聞きください。



## ポパイ荘託児所

### 「ポパイ荘託児所」のリフォームを行いました！

当院では、職員がより働きやすいように託児所を設置しています。このたびリフォームを行い、広くなった部屋で子供達が元気いっぱい過ごしています。



音楽に合わせて踊ったり、体操したり、お昼寝するお部屋です。



小さい子はママゴトやお絵かき、大きい子は折り紙や勉強をしたりしています。



「みんな一緒にいただきます。」みんなでお弁当やおやつを食べたりしています。



## 日本静脈経腸栄養学会

### 第10回日本静脈経腸栄養学会四国支部学術集会

会期：2018年9月1日（土）

会場：あわぎんホール（徳島県）



「認知症の摂食障害～認知症治療病棟入院中の患者を対象とした実態調査～」

酒井 晃代（看護師）

「回復期リハビリテーション病棟における

歩行自立への腎機能及び栄養指標の影響性の検討」

大野 達郎（理学療法士）

発表してきました。他の病院の取り組みや地域でのNST（栄養サポートチーム）での位置づけなどを深く知る事ができました。当院でも活かしていきたいです。



## 通所リハビリテーションセンターはしもと

### リハビリテーション会議

質の高いリハビリを提供するために、医師・リハビリ職員・ケアマネジャー・その他の利用者様に関わる担当者が、情報を共有し、生活や支援の目標、目標を実現する期限、具体的な支援方法、介入の頻度・時間、訪問の必要性の有無、他職種の関わり方などのリハビリテーション会議を行い、利用者様に合ったリハビリテーション計画を作成します。

開始月から6ヵ月以内は月1回、6ヵ月以降は3ヵ月に1回会議を行い、計画を見直します。

医師の参加もあり、リハビリテーションのより効果的な進捗につながっています。



### 個別リハビリテーション

退院後や介護認定後に3ヵ月間集中的に行う短期集中リハビリテーションは40分、その後の個別リハビリテーションは20分実施します。基本動作や日常生活動作だけでなく、利用者様に合わせて自宅や社会参加に必要な環境を想定し実施しています。



通所リハビリでは施設の見学ができます。随時受付ていますのでお気軽にどうぞ。

<お問い合わせ先>  
TEL : 0875-63-3700  
担当 : 西山 寿美子



## 納涼祭

今年の夏は連日暑い日が続きましたが、橋本病院では暑さにも負けず、夏を楽しむイベントとして8月23日（木）に納涼祭を開催しました。

各病棟工夫を凝らし、盆踊りやスイカ割り、水風船すくいや流し素麺などの催し物を行いました。夏を感じ、夏の暑さを忘れられるようなひとときとなりました。

スイカ割りでは患者様にも参加して頂いただきました。入院時には思うように体が動かず立つことができなかった患者様が、毎日の厳しいリハビリを乗り越え、自らの足で立ちスイカを割るなど、日々のリハビリの成果を発揮することができました。患者様に楽しんでいただきながら、夏の暑い日を乗り越えられたイベントとなりました。





## メディコポリス観音寺 デイサービスセンターはしもと

### 紙芝居慰問



今年の夏は約6年ぶりとなる紙芝居のボランティア慰問がありました。ボランティアに来てくださった小林様を見て、久しぶりの姿や以前と変わらない声を懐かしむ利用者様や、初めて紙芝居を聞く利用者様からは「紙芝居なんて久しぶり」「子供の頃よく聞いた」という感想が聞かれました。小林様が持参された紙芝居は3本あり、どの作品も利用者様からワハハという笑い声が出ており、楽しんでいる様子が伝わってきました。紙芝居の内容も楽しい内容でしたが、それ以上に小林様の面白い話に皆様聞き入っておられました。紙芝居の中には話の流れに沿って利用者様みんなで声を出して登場人物を呼んだり手拍子を取ったりして楽しまれていました。



### 生活リハビリ



自立支援の一環として月に一度の生活リハビリ（おやつ作り）では、食材や作るおやつにて季節を感じつつ、毎回新しいレシピで実施しています。猛暑の続いた今年の夏には、冷たいおやつが食べたいとの利用者様からのリクエストもあり、スイカや桃など夏が旬の果物をふんだんに使用し、冷たい「フルーツあんみつ」を作りました。机の上に敷いたラップの上に薄くスライスした果物を乗せ、クッキーを作るときに使用する型抜きで可愛らしく星やハートの形に型抜きしました。型抜きの作業では片麻痺のある方も参加しやすく、性別も関係なく皆さんで取り組んでくださいました。好きな果物をお皿に取り、トッピングにアイスクリームをのせて皆様美味しそうに召し上がっていました。



## 認知症キャラバン

### 認知症キャラバンに講師として参加しました。



日時：2018年7月20日（金）13:30～15:00  
場所：財田町国保高齢者保健福祉支援センター（三豊市）

参加者は23名で、認知症の座学、上下肢のストレッチ、コグニサイズを実施しました。また、熱中症の予防についてのお話もさせていただきました。



日時：2018年7月27日（金）13:30～15:00  
場所：山本町保健センター（三豊市）

参加者は20名で、グループになってコグニサイズを実施しました。失敗を笑いに変えて楽しく身体を動かしました。



日時：2018年8月3日（金）13:30～15:00  
場所：大野原いきいきセンター(観音寺市)

認知症予防エクササイズ（コグニサイズ）の講義と実践（コグニサイズ）を実施しました。参加者は約50名で、暑い時期ではありましたが皆様楽しく笑顔でよい汗をかけました。



日時：2018年8月15日（水）9:00～10:00  
場所：まんのう町町民文化ホール

認知症の講義とコグニサイズを実施し、参加者86名で熱心に取り組まれました。



## 地域連携室

平成30年7月～8月に行いました**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の実績（回復期リハ病棟）を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：7月【30件】、8月【31件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：7月【3.9日】、8月【5.7日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：7月【10.1日】、8月【13.5日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は 7.0日（1～28日）です。大変お待たせして申し訳ございません。

### 対象となる方

1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症から2ヶ月以内。
2. 多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
3. 外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
5. 股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。



### リハビリは 365日、1日3時間

提供させていただきます。  
また、多職種によるチーム医療で、早期に退院できるように取り組んでいます。

### 入院相談はお気軽にご連絡ください

橋本病院 地域連携部

窓口：大西 宏美

電話：0875-63-3552（直通）

0875-63-3311（代表）



認知症治療病棟への入院相談もお伺いしております。お気軽にご連絡ください。



### 移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。

## 事務部

### 平成30年10月より インフルエンザ予防接種が始まります

#### インフルエンザについて

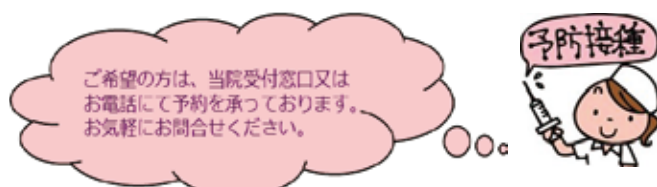
インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。子どもではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。

#### 「インフルエンザの定期予防接種について」

定期の予防接種の助成対象者は以下の方です。

1	満65歳以上の方
2	満60歳から64歳で心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級相当）

※予診票の配布方法は各市町村によって異なります。  
詳細につきましてはお住まいの市町村までおたずねください。



### ～平成30年度～ 高齢者定期肺炎球菌予防接種はお済みですか？

#### 肺炎球菌について

日本人の死因の3番目が肺炎で、高齢者を中心に肺炎で亡くなる方は年間12万人に達します。肺炎になる細菌には様々な種類がありますが、高齢者の肺炎の原因で最も多く、重症化しやすいものが肺炎球菌です。

#### 「高齢者の肺炎球菌予防接種について」

平成30年度の助成対象者は以下の方です。

※成人用肺炎球菌ワクチンを接種されたことがない方のみ



対象者	生年月日
65歳となる方	昭和28年4月2日生 ～ 昭和29年4月1日生
70歳となる方	昭和23年4月2日生 ～ 昭和24年4月1日生
75歳となる方	昭和18年4月2日生 ～ 昭和19年4月1日生
80歳となる方	昭和13年4月2日生 ～ 昭和14年4月1日生
85歳となる方	昭和8年4月2日生 ～ 昭和9年4月1日生
90歳となる方	昭和3年4月2日生 ～ 昭和4年4月1日生
95歳となる方	大正12年4月2日生 ～ 大正13年4月1日生
100歳となる方	大正7年4月2日生 ～ 大正8年4月1日生

今年度助成対象者の接種期間は平成30年4月1日～平成31年3月31日までです。  
定期接種の対象者は毎年異なるため、接種の機会を逃さないようにご注意ください！

講演会のお知らせ ※ 詳しくは別紙パンフレットをご用意しております。お気軽にお問い合わせください。

## 第10回 リハビリテーションを考える会 ～ これからのリハビリテーション ～

リハビリテーションにも、急性期・回復期・維持期といった区分があります。これまでは回復期リハビリテーションに注目が集まっていたましたが、近年は急性期病院での早期リハビリや退院後の在宅リハビリの重要性が見直され、回復期リハビリも質の向上が求められています。こういった転換期にある今、これからのリハビリテーションはどのように変わっていくのか、また変わらなければならないのかを考えたいと思います。

2019年

1月14日 月・祝 受付 11:30～  
12:30～16:45

サンポートホール高松 第1小ホール（ホール棟4階）

参加費 無料

事前申込制

### 基調講演 これからのリハビリテーション医療

講師 石川 誠（医師）

医療法人社団 輝生会 会長

日本リハビリテーション医学会 専門医・指導医・名誉会員  
回復期リハビリテーション病棟協会 相談役



### スケジュール

基調講演 石川 誠 医療法人社団 輝生会 会長

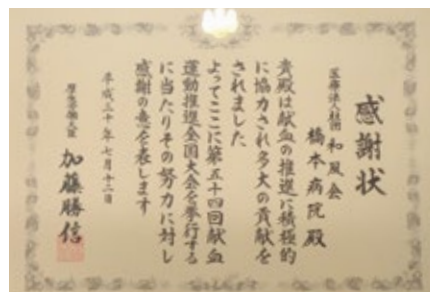
講演① 合田 文則 千里川リハビリテーション病院 副院長

講演② 吉尾 雅春 千里川リハビリテーション病院 副院長

講演③ 橋本 康子 医療法人社団和風会 理事長

患者・家族を交えて座談会

## 献血運動推進功労者表彰式（厚生労働大臣 感謝状）



7月30日に香川県庁において「献血運動推進功労者表彰式」が行われ、韓院長が出席しました。当院においては約10年以上にわたり、組織的に献血に協力した事業所として感謝状を受賞いたしました。

今後も社会貢献活動の一つである献血活動に継続的に取り組んでまいります。



## 職員募集のお知らせ

募集

精神保健福祉士  
社会福祉士  
看護師・准看護師  
介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！  
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。

<http://www.wafukai-hashimoto.jp>

TEL 0875-63-3311（人事担当：安藤）

医療法人社団和風会 橋本病院  
〒768-0103  
香川県三豊市山本町財田西902番地1  
TEL：0875-63-3311  
FAX：0875-63-2651  
入院相談直通電話：0875-63-3552  
E-mail：wafukai@gaea.ocn.ne.jp  
HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp  
発行元：橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床  
療 認知症治療病棟 67床

介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所  
通所リハビリテーションセンターはしもと  
メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと  
訪問リハビリテーションセンターはしもと

